

コロナ禍での6月議会

小金井市独自支援策 補正予算可決



小金井市議会議員

2020年7月発行

五十嵐京子を支援する会

五十嵐京子 通信 第53号

小金井で元気に！小金井を元気に！

事業者や市民への支援策

- ① **事業継続支援給付金** 20万円 予算2.5億円(都交付金88%活用)
2～5月の一月の売上が前年同月比で15%以上減少の事業者
(申請は8/31まで。Tel 042-387-9831)
- ② **児童扶養手当受給者支援臨時特別給付金** ひとり親支援
7月支給分に5,6月分と同額を上乗せ支給 予算2800万円(都交付金100%活用)
*ひとり親には更に国からの支援で5万円の支給も決定している
- ③ **高齢者世帯へ エアコン設置補助** 上限5万円 予算300万円
熱中症対策にも
- ④ **学校教育用ネットワークの構築**
小中学生用7500台余のタブレット購入 予算7.4億円(国補助87%)
- ⑤ **図書消毒器設置** 図書館本館と北町センターに。 予算260万円
- ⑥ **学生支援で自転車駐車場の定期使用 援助**
4.5月の使用について利用できなかった人への補助
- ⑦ **市民交流センターの使用料 半額に** コロナ対策により定員半減のため。

コロナ対策のための基金条例 市民からの寄附の受け皿にも 議員提案で成立

「対策基金」を設置する条例を可決し、カットした資金や市民からの寄附の受け皿にもできるようにしました。既に3月議会からコロナの影響は出ていましたので、閉会の時には、臨時議会が必要になると思っていました。議会では4、5月の閉会中の委員会開催や視察は中止又は延期にするなど対策を講じました。市民向けに近隣市はほとんど臨時議会対応しましたが、西岡市長は臨時議会を開催せず、6月議会での即決を求めてきました。これまで何度か指摘した市長の判断の遅さは、危機管理の時には特に問題と言わざるを得ません。議会の質疑でそのことを問われると、丁寧な制度構築も重要との答弁。平常ではない緊急時の対応の理解不足を感じます。

議会では7月の議員報酬の2割カットを行い、コロナ対策への充実を求め、市長以下理事者も同様の措置を取りました。さらに、議員提案で「新型コロナウイルス感染症

再開発の工事が始まる前に本町六丁目史跡と命名された史跡が見つかり、多くの市民の方々にも見ていただいた経緯があります。新しく完成したビルの4階のエレベーター前には、そこから出土した品が展示されており、小金井の歴史を振り返ることができるコーナーが設置されました。子ども達にも多くの市民にも見ていただきたいものです。



で、この先小金井の新しい顔として期待がもてるものになり、コロナで沈んだまちに新しい光をもたらしました。

コロナの影響で2週間ほど遅れて、6月30日に待望の商店街がオープンしました。長い時間をかけて作り上げた武蔵小金井駅南口再開発の完成となります。新しい拠点は外観も新たなまちの誕生を思わせるもので、この先小金井の新しい顔として期待がもてるものになり、コロナで沈んだまちに新しい光をもたらしました。

武蔵小金井駅南口第二地区再開発
新たなにぎわいの拠点オープン
— Socola武蔵小金井クロス



平成29年
の市議選

西岡市長推薦の候補者の、勤務先だった福祉施設の名簿盗用事件に関し、市議会では調査の方法を模索

小金井市の告発に対し、警察からは時効により不起訴の回答

平成29年3月の小金井市議選で、西岡市長が推薦した新人候補者が勤務先だった福祉施設の名簿を盗用し選挙に使用したことが令和元年11月28日に判明し、市はその後調査開始、令和2年1月23日に個人情報保護条例違反で警察に告発をした。その結果が報告をされ、5月15日に不起訴、同26日にはその理由が時効によるとの警察からの回答があったと説明がされた。名簿の盗用から既に3年以上経っているためと思われるが、条例違反がなかったということではない。

警察の処理としては時効という判断はあるとしても、行政をチェックする議会としては、今後の行政運営のためにも何があったのか、何故防げなかったのかをしっかりと調査し、記録に残して再発防止策を示しておく必要がある。

西岡市長、平成元年11月28日の候補者との会談の詳細を答弁せず

今回この件が明らかになったのは、内部告発からであり、また判明した11月28日には西岡市長と当該候補者との面会が行われている、それがきっかけで事件が公になっている

にもかかわらず、西岡市長は明快な答弁を避け、詳細を明らかにしていない。この問題には毅然として取り組むと明言していた西岡市長が、丁寧に説明責任を果たすことが市議会の調査にとっても重要であり、再発防止にま

ず必要な事である。個人情報保護条例には罰則もついているほど情報の取り扱いには注意が必要な時代である。小金井市を信頼して個人情報提供を預けている市民に対し、市は委託先への指導を的確に行う責任があり、委託先である福祉施設にはその取扱いに責任がある。多くの市民がこの福祉施設にお世話になり、生活には欠かせない役割を担っていたに違いない。だからこそ、今回のように目的外に名簿を使用した事実を重く受け止め、関係者それぞれが自らの立場で責任を明確にすることが、再発防止の第一歩になると考える。

総務企画委員会での質疑

— 今後の調査は？ —

時効から不起訴になったとは言え、本人も盗用を認め、個人情報保護違反に問われたこの問題については、これまでの委員会の質疑では明らかにできない関係者の事情聴取などが必要になるとの考えから、証人喚問が可能になる百条委員会（地方自治法第100条による）を設置すべきという意見と、委託先の法

人の社会的信用が心配などの理由から百条委員会設置に反対の声と委員会の模索は続いている。

今回の事件の解明で懸念されるのは、福祉施設への影響、そして告発した市の責任者が西岡市長であり、名簿盗用をした元候補者を応援したのがその市長本人である点と思われる。だからこそ、西岡市長の答弁が真相解明と、今後の再発防止の力ぎを握っていると言えるだろう。市長も市議会も毅然とした対応をし、政治の責任を果たさなくてはならない。

庁舎・福祉会館建設問題 実施設計を発注へ、費用総額107億円以上

パブリックコメントへの丁寧な対応を求めた議会の思いとは別に、西岡市長は6月に入って実施設計を発注したと議会に報告しました。市民からの声には実施設計の時に反映できる部分に限り、検討をするにとどまるようです。

また、6月議会中に庁舎・福祉会館建設にかかる費用の概算が示され、これまでかかった分も含め107億円を超すことを明らかにしました。4年前の市長選挙で西岡市長は、図書館も含め67億円で新たな市民負担無し、と市民に訴え当選しましたが、その計画が如何に非現実的なものだったかが明確になってきました。

さらに、ここにきてコロナ対策が急務になっている現在、議会からはこのまま庁舎建設が進められるかと疑問の声が出ましたが、西岡市長からは明快な答弁が出ていません。

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

小金井市議会議員

五十嵐京子

通信
第53号

2020年7月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町 3-8-9-312

電話 042-384-9920